

困難さ：声の大きさの調整が難しい

目的：適切な声の大きさを発表することができる

方法：声の大きさを視覚的に示して、自分の声の大きさを調整しやすようにした



声の大きさに課題がある生徒に対して、音量を視覚化できるようにしました。実践前は「大きく」と伝えると大きすぎる声で、「小さく」と伝えると小さすぎる声で発表を行っていました。しかし、目的に応じた声の大きさを調整できるようになってきました。また、同じ音量で継続して話すこともできるようになりました。

keyword:NoiseLevel